

Believe

37 回生年次通信 No19 H27.10.13

真の成功と幸福は、人格にあり その2

3 年次主任 永岡 健二郎

人格は繰り返す行動の総計である

それゆえに優秀さは単発的な行動にあらず、習慣である

—アリストテレス—

先月行われた体育大会で、3 年 6 組が見事総合優勝を果たしました。3 年次のクラスが総合優勝を果たすのはここ 10 年ではなかったことです。その他のクラスも力を合わせてよく頑張りました。結果としては 6 組の優勝ですが、年次全体の力であると私は考えています。37 回生の年次主任としてみなさんの力を改めて見直し、誇らしく思えました。

さて、先月の続きです。

スティーブン・R・コヴィー博士の『7つの習慣』によると、これらの習慣は本来1つ1つ積み上げていくものでなくすべてをバランスよく自分にあったかたちで獲得していくものとされています。

II. 公的成功

第四の習慣：Win-Win を考える

第五の習慣：理解してから理解される

第六の習慣：相乗効果を発揮する

III. 再新再生

第七の習慣：刃を砥ぐ

「公的成功」とは、信頼を元手に人と協力体制を築き、より大きな成果の達成を目指すことです。

第四の習慣の「Win-Win を考える」とは、自分のとっても相手にとっても良好な結果が得られるような取引を考えることです。一方が得をし、もう一方が損をするのではなく、お互いの利益につながるような考え方です。

高度な信頼関係を構築し、Win-Win を実現するためお互いを理解し合わなければなりません。ここで第五の習慣「理解してから理解される」です。真に相手を理解することはとても難しいですがそれを乗り越え相手の立場に立って考えることこそ相手を理解することにつながるのです。そして相手を理解したうえで自分の立場を説明し、理解してもらおう努力をするような習慣を身に付けると良いでしょう。

第六の習慣「相乗効果を発揮する」です。相乗効果を本書では「全体の合計が各部分の和よりも大きくなること」としています。つまり、 $1 + 1 = 2$ よりも大きくすることです。これはなかなか稀なことです。相乗効果的な人間関係を目指そうとしても、たいていは防衛的な本能が働き、相乗効果を発揮するのは難しくなるのです。みなさんが“私的成功”を備え、第四・第五の習慣を実践し、不安に打ち勝って相手との相違点を尊ぶことができたとき、初めて発揮できる能力だからです。

最後は他の全ての習慣を支える、人生の基本的な4つの側面の維持について説かれます。1. 肉体 2. 精神 3. 知性 4. 社会・情緒 についてバランス良く取り組むことで、“自分自身”という最も大切な資源を維持するのです。

みなさんの人生において7つの習慣を身に付け、「成功」を勝ち取ることを強く願っています。

10月14日（水）から下の日程で、中間考査が始まります。入試、受験勉強、課題研究の総まとめ等、忙しい時期ですが、1学期の自分の頑張りを思い出して、ペースを落とさず、全力を尽くして試験に臨みましょう。

中間考査日程

	10月14日 (水)	10月15日 (木)	10月16日 (金)	10月19日 (月)	10月20日 (火)
1 校時 8:45~ 9:35	日本史研究・ 世界史研究 物理② 福祉医療国語	化学研究 生物②・ 物理学研究	生物学研究 化学②	近代日本史 近代世界史 生物 医看数学	現代文読解上級 現代文読解中級 倫政研究
2 校時 9:50~ 10:40	英語総合α・β 就職数学・ 地理研究・ 現社研究	総合英語	文系古典B② 応用数学	文系現代文B② 理系国語	コミュニケーション英語Ⅲ
3 校時 10:55~ 11:45	古典読解β ソルフェージュ β(90分)	政治経済 英語総合γ	総合数学β 時事英語 器楽β(70分)	総合数学α 数学Ⅲ コンピューターデザイン	古典解法
4 校時	ソルフェージュ β(90分)		器楽β(70分)		

11月の予定

1	日	創立記念日	16	月	文化鑑賞(アミティホール)1,2限授業
2	月		17	火	お話し会(図書館)
3	火	文化の日	18	水	
4	水	人権講演会(3,4限)	19	木	
5	木		20	金	
6	金	課題研究発表会	21	土	
7	土	3年進学模試	22	日	
8	日	3年進学模試	23	月	勤労感謝の日
9	月		24	火	キャンパスカウンセリング
10	火	キャンパスカウンセリング	25	水	
11	水	LHR(人権講演会事後指導)	26	木	
12	木		27	金	期末考査(12月3日(木)まで)
13	金		28	土	
14	土	学校説明会10:00~体育館	29	日	
15	日		30	月	